

施策 332 観光の産業化と海外誘客の促進

【主担当部局：雇用経済部観光局】

県民の皆さんとめざす姿

県民の皆さん、市町、観光事業者、NPO法人等と連携を図り、マーケティングを実施し、マネジメントおよびPDCAサイクルの方法を取り入れた取組を推進することにより、国内外の来訪者から何度でも訪問したい観光地として三重県が選ばれるとともに、観光産業が三重県経済をけん引する産業のひとつとして確立し、地域が持続的に発展しています。

平成31年度末での到達目標

第62回神宮式年遷宮後の観光入込客の減、また、人口減少・少子高齢化による国内観光市場が縮小傾向にある状況においても、伊勢志摩サミット開催の経験を生かし、さらなる観光の産業化、三重県の特性を生かした国内外誘客の取組等により、「みえの観光」のグレードアップが図られ、観光関連産業の活性化が進んでいます。

| 県民指標 | | | | | | |
|-----------------|---|------------|------------|------------|------------|---------------|
| 目標項目 | 27年度 | 28年度 | | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
| | 現状値 | 目標値 実績値 | 目標達成 状況 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 |
| 観光消費額 | 4,657億円 (26年) | | | | | 5,000億円 以上 |
| 目標項目 の説明 | 観光旅行者が県内において支出した観光消費額（交通費、宿泊費、土産品費、その他費用） | | | | | |
| 28年度目標値 の考え方 | | | | | | |

| 活動指標 | | | | | | | |
|-------------------------------|--------------|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 基本事業 | 目標項目 | 27年度 | 28年度 | | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
| | | 現状値 | 目標値 実績値 | 目標達成 状況 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 |
| 33201 持続可能な観光地づくり（雇用経済部観光局） | 県内の延べ宿泊者数 | 879万人 (26年) | | | | | 940万人 |
| 33202 インバウンド倍増戦略の展開（雇用経済部観光局） | 県内の外国人延べ宿泊者数 | 178,520人 (26年) | | | | | 360,000人 |

| 基本事業 | 目標項目 | 27年度 | 28年度 | | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
|--|--------------|-----------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| | | 現状値 | 目標値 実績値 | 目標達成 状況 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 | 目標値 実績値 |
| 33203 伊勢志摩サミットの好機を生かしたMICE誘致（雇用経済部観光局） | 国際会議開催件数（累計） | | | | | | 20件 |
| | | — | | | | | |
| 33204 人にやさしい観光の基盤づくり（雇用経済部観光局） | 観光旅行者満足度 | | | | | | 25.5% |
| | | 20.5% (26年度) | | | | | |

現状と課題

- ①平成25年4月から官民一体で実施してきた三重県観光キャンペーンの成果である仕組みや体制、平成28（2016）年5月に三重県で開催される「伊勢志摩サミット」の経験を生かし、遷宮効果、観光キャンペーンだけに頼らない持続的・安定的な観光客誘致に結びつけることができるよう、「観光の産業化」をさらに進めていく必要があります。
- ②県内での外国人延べ宿泊者数は平成26（2014）年に約18万人と平成22（2010）年の約11万人から1.6倍に増加しています。アジアからの旅行者に加え、MICE、欧米市場、富裕層をターゲットに、これらの市場を三重県の海外誘客における主たる市場として確立させるとともに、比率が高まっている個人の外国人旅行者（FIT）の取り込みを図る必要があります。
- ③平成25（2013）年6月、三重県は「日本一のバリアフリー観光県」推進宣言を行いました。この宣言をもとに三重県版バリアフリー観光（パーソナルバリアフリーの考え方を推進する観光）を展開する等を通じて、「おもてなし」の向上や観光人材の育成を図ることで来訪を促す基盤づくりを行う必要があります。

平成28年度の取組方向

- ①伊勢志摩サミットの好機を生かし、世界の人々が一度は訪れたいブランド観光地、日本人が何度でも訪問したい定番の観光地にグレードアップを図ります。
- ②観光関連産業を裾野の広い産業と捉え、顧客満足度の高いサービスを提供できる観光関連産業の育成を図るとともに、「食」「海女」「忍者」等魅力ある地域資源を生かした「地域ストーリーづくり」に努めることで「観光の産業化」を進めます。さらに、「観光の産業化」を図るため、マネジメントおよびPDCAサイクルの手法を取り入れた事業の推進や、日本版DMOの構築に向けた基盤づくりを進めます。
- ③「みえ旅パスポート」等のデータを活用し、戦略的なマーケティングに取り組むとともに、三重ファンの新規開拓や再来訪促進をめざします。
- ④本県への外国人旅行者の一層の来訪を図るため、旅行博出展や海外メディア招聘等により、インバウンドの取組を進めます。
- ⑤三重県版バリアフリー観光の普及を図り、障がい者や高齢者、外国人が安心して訪問できる三重県の魅力ある観光地づくりを進めるとともに、旅行者の多様なニーズに応えられる人材の育成に取り組みます。

主な事業

①(新)観光の産業化推進委員会負担金【基本事業名：33201 持続可能な観光地づくり】

予算額：(27) ー 千円 → (28) 198,400千円

事業概要：観光関連産業を裾野の広い産業と捉え、「食」を中心としたサービス産業など多様な産業と連携した展開を図るとともに、観光関連産業を、地域を牽引する産業として育成することで、「観光の産業化」を推進し、来訪者の観光消費額単価の増加（三重の観光の「質」を高める）につなげます。また、県内各地に観光マネジメントの核となる組織「日本版DMO創設」の支援を行うとともに、来年の伊勢志摩サミット開催のチャンスをつかみ、インバウンド対応を含めた「受入体制のさらなる充実・強化」に取り組み、地域の活性化や持続可能な観光地づくりをめざします。

②国内誘客推進事業【基本事業名：33201 持続可能な観光地づくり】

予算額：(27) 51,017千円 → (28) 35,869千円

事業概要：三重県観光連盟、伊勢志摩観光コンベンション機構、市町等と連携し、観光情報の発信や誘客促進活動を展開することにより、持続的な三重県観光の基盤強化に取り組みます。また、首都圏等からの修学旅行や県内および近隣府県からの社会見学等教育旅行の誘致、日本忍者協議会への参画を通じた忍者コンテンツの発信、県内フィルムコミッションとの連携による映画ロケ地等の情報発信等を進め、持続的な三重県観光の基盤強化に取り組みます。

③海外プロモーション推進事業【基本事業名：33202 インバウンド倍増戦略の展開】

予算額：(27) 9,100千円 → (28) 16,038千円

事業概要：外国人旅行者の誘客を図るため、旅行博覧会出展や海外メディア招請による認知度向上の取組および海外旅行事業者へのセールスや商談会を開催します。

④外国人観光客対応人材育成事業【基本事業名：33202 インバウンド倍増戦略の展開】

予算額：(27) 11,502千円 → (28) 9,402千円

事業概要：外国人旅行者の受入に必要な外国語対応や「おもてなし」ができる人材を育成することにより、県内インバウンド受入環境の向上を図ります。

⑤観光事業推進事業【基本事業名：33204 人にやさしい観光の基盤づくり】

予算額：(27) 34,351千円 → (28) 24,411千円

事業概要：三重県版バリアフリー観光の普及等、「みえの観光振興に関する条例」や現在策定中の「三重県観光振興基本計画」に基づく観光施策の推進を図ります。